

# 交流拡大プロジェクト レポート



紋別の自然に魅せられて！  
大阪より冬の紋別を体験

移住促進事業では、大阪府に在住の長谷川さん一家が、昨年12月29日から1週間程、旧教員住宅に住みながら冬の紋別での車の運転や雪かきなど実生活さながらの体験をしました。



長谷川さんは、アウトドア派の青年で年に2回ほど北海道に来て大自然を満喫しています。

紋別を知るきっかけは、釣りを楽しむとしている長谷川さんが、2年前に雑誌で、スポーツフィッシングの「キャッチ&リリース」を行う渚滑川の特集記事を見て、実際に渚滑川を訪れた時の印象が、「自然のままの景観を残した川は本州ではほとんどない」と、渚滑川の虜になり一昨年には、年に2回渚滑川でフィッシングを楽しみました。

地元の方々や大自然とふれあううちに紋別の虜になり、紋別に移住したいという気持ちが強くなったとのこと。将来的には、喫茶店かお好み焼き店、ペンション等ができればと考えている長谷川さん。

妻の奈津子さん、息子の大祐くんも紋別を気に入った様子で市としても、移住促進事業の第1号となるか期待しています。



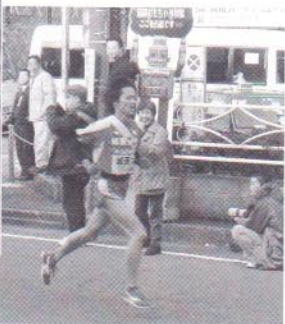
紋別合宿を行った  
城西大学箱根駅伝出場！  
健闘するも来年度のシード権に一步およばず…

平成18年8月上旬から16日間、紋別市で夏合宿を行った城西大学男子駅伝部が東京箱根間往復大学駅伝に4年連続出場しました。

城西大学は、昨年の同駅伝で11位とシード権をもう一步のところまで逃しましたが、10月16日の予選会を見事突破し、本戦に臨みました。

市も、企画調整課の高野参事らが現地におもむき、大学の横断幕をかかげ熱い声援を送りました。

箱根駅伝では一時、1区で3位、8区で8位とシード権内の順位に食い込んでいまし



平塚監督



だが、結果は昨年同様11位とシード権にまた手が届きませんでした。

城西大学の平塚監督は、目に涙をうかべながら「来年こそは、必ずリベンジしたい」と強い決意で話していました。今年も紋別での合宿を足がかりに予選会を突破し、本大会で好成績を収めて欲しいと思います。